

第27回 称名寺薪能

称名寺薪能の開催にあわせて、4月27日(土)～5月6日(月・祝)に
称名寺ライトアップを実施します

第27回称名寺薪能 開催概要

「称名寺薪能」は、金沢区内を舞台とする能の演目「六浦」などがあることがきっかけとなり、金沢区政 50 周年を記念して称名寺薪能実行委員会と金沢区の共催で始まり、今回で 27 回目を迎えます。また、区民等で構成された実行委員会やボランティアにより運営されており、自然の中で伝統芸能を堪能できる催事として、多くの区民に親しまれています。

金沢区の歴史的資産を生かした事業のひとつとして開催している「称名寺薪能」は、子どもたちの参加を募って開催当日に連吟(能の一部を謡う)を披露する取組や区内小学校で出張能講座を行う金沢区の事業につながり、次世代を担う子どもたちにとっても貴重な機会となっています。

日時：令和6年5月3日(金・祝) 17時開演 (16時開場)

場所：称名寺境内 特設能舞台 (金沢区金沢町212-1)

※雨天時は金沢公会堂で開催(第一部 13 時開演、第二部 17 時開演)

開催場所は当日の朝に金沢区役所ホームページでお知らせします。

主催：称名寺薪能実行委員会、共催：金沢区役所

出演者・演目：能「巴」櫻間右陣師(シテ方金春流、重要無形文化財総合指定保持者)他
狂言「鐘の音」野村萬斎師(狂言方和泉流、重要無形文化財総合指定保持者)他

※プログラム及び演目のあらすじは添付のちらし裏面をご参照ください。

チケット販売：当日券(約 150 席、料金 6,500 円)を開催当日午後2時より称名寺境内会場入口で販売。(雨天時に金沢公会堂で開催の場合はなし)

称名寺ライトアップ 実施概要

称名寺薪能に合わせて、称名寺のライトアップを実施します。本堂や反橋・平橋などをライトアップし、借景として称名寺薪能を盛り上げます。また、フォトスポットとして多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日 時：令和6年4月27日(土)～5月6日(月・祝) 18時～21時

※5月3日(金・祝)は称名寺薪能開催のため境内の一部は通行止めとなります。

【参考】

出張能講座の実施概要

実施時期：毎年9月～12月頃

実施対象：金沢区内の希望する小学校(令和5年度は5校で実施)

実施主体：金沢区役所

内 容：能の歴史、能舞台等の説明・映像視聴、謡・仕舞・装束付けの体験、仕舞の実演

【開催当日の取材について】

「第27回称名寺薪能」開催当日の取材につきましては、称名寺境内開催会場の受付にてお受けいたします。

当日の問合せ先(称名寺薪能実行委員会) 080-4205-4139

お問合せ先

(称名寺薪能、チケット販売に関すること)

称名寺薪能実行委員会(事務局 さくらまかい 櫻間會) Tel 03-3556-6176(平日10～17時)

(称名寺ライトアップ、その他に関すること)

金沢区地域振興課長 米山 岳夫 Tel 045-788-7800

第27回

しょうみょうじ たきぎのう

能 薪能寺名称

金沢区役所 共催

3月16日(土)
チケット販売開始

ともえ
能 巴
櫻間右陣

撮影 三上文規

撮影 政川慎治

ね
かね
狂言 鐘の音
野村萬齋

称名寺境内特設能舞台 全席指定 S席 7,500円
A席 6,500円

令和6年5月3日(祝・金) 開演 午後5時
(開場4時)

チケット販売

- ・金沢区役所(1階1号会議室) 3月16日(土)・17日(日) 午前9時より午後4時まで(一人6枚まで)
★金沢区役所での両日販売分に関り各500円の特別割引 【3月16日 午前8時より整理券配布】
- ・チケットぴあ 3月16日(土) 午前10時より
- ・カンフェティ《Confetti》 3月16日(土) 午前10時より
- 電話受付(平日10時~18時) 0120-240-540 ※通話料無料
- ・3月18日以降 称名寺薪能実行委員会(事務局 櫻間會) Tel&Fax 03-3556-6176
土日祝日を除く午前10時~午後5時

 称名寺薪能 櫻間會HP



《当日券は指定席(残券分)と指定席(約150席雨天時なし)を午後2時より薪能会場入口横にて販売》

雨天時は横浜市金沢公会堂で公演【2部制/第1部 開演 午後1時(開場12時)/第2部 開演5時(開場4時)】

称名寺薪能

令和六年 五月三日(祝・金)
称名寺境内特設能舞台

午後五時 開演(四時 開場)

プログラム

解説 野村 萬齋

櫻間 右陣

連吟 六 浦

子供連吟参加者

連吟 放下僧

金沢八景教室受講生

火入式

仕舞 千手

シテ 櫻間 金記

一調 六浦

シテ 櫻間 右陣
太鼓 金春惣右衛門

狂言 鐘の音

シテ/太郎冠者

野村 萬齋

アト/主

飯田 豪

能 巴

シテ/里女 後に 巴御前

櫻間 右陣

ワキ/旅僧

宝生 常三

間/所の者

野村 裕基

笛

松田 弘之

小鼓

大倉 源次郎

大鼓

亀井 広忠

あらすじ

狂言 鐘の音 (かねのね)



成人した息子に黄金造りの刀を差させようと思つた主人(アト)は太郎冠者(シテ)に鎌倉へ行って「金の値(かねのね)」を聞いて来るように命じる。ところが太郎冠者は「鐘の音」を聞くと勘違いして、寺々を廻って音色を聞き比べて帰ってくる。太郎冠者は主人にそれぞれの鐘の音の特徴を述べるが…。

意味の取り違いによって起きたエピソード。太郎冠者は鎌倉のそれぞれの寺の鐘の音をどのように言い表わすかに注目です。

能 巴 (ともえ)



木曾の僧(ワキ)が都へ上る途中、近江の国粟津が原へさしかかると、ある社に涙を流しながら参拝する女(前シテ)がいる。僧が不審に思つて尋ねると、女はここが木曾義仲を祀るところだと語る。僧も同郷の縁に礼拝すると女は入相の鐘の響く頃、知らぬなら里人(間狂言)に我が名を尋ねよと言ひ姿を隠し、僧は里人の話に女が巴御前の霊と悟る。

義仲の跡を弔う僧の前に女が甲冑姿で現れ、義仲と最期を共に出来なかつた恨みに執心が残つた巴御前の霊(後シテ)であると名乗る。巴は義仲の上洛、粟津が原の敗戦、義仲との決別、奮戦の有様、義仲自害の後は形見を抱いて木曾に帰つたことを物語ると、執心の弔いを頼んで消え失せる。

「平家物語」を題材にした武将たちが登場する能の演目の中で唯一の女武者。ちなみに落ち延びた巴御前は鎌倉へやってきたという歴史文献もあります。

称名寺薪能をよりお楽しみいただくために…

出演者による講座 「称名寺薪能」事前講座

能のシテを演じる出演者が見どころや楽しみ方をご紹介します。

4月6日(土) ①午前10時30分 ②午後1時30分 (どちらも内容は同じです)

講師 櫻間右陣師(能「巴」のシテ)
会場 神奈川県立金沢文庫 地下大会議室
定員 各回60名(予定)
参加費 各回500円(※)
チケット 3月16・17日に金沢区役所で薪能チケットと同時販売
問合せ 称名寺薪能実行委員会(事務局 櫻間會)
Tel&Fax 03-3556-6176

(※) どちらの講座も別途、県立金沢文庫の当日観覧券が必要です。第27回称名寺薪能のチケット提示で団体割引適用。観覧券の料金は県立金沢文庫のホームページでご確認ください。

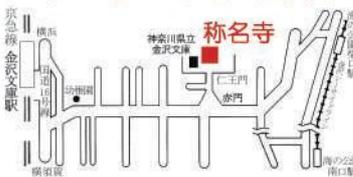
金沢文庫学芸員による薪能協力講座

能「巴」と狂言「鐘の音」のたのしみかた

4月27日(土) 午後1時30分～3時

講師 貫井裕恵氏(神奈川県立金沢文庫学芸員)
会場 神奈川県立金沢文庫 地下大会議室
定員 60名(予定/定員を超えた場合は抽選)
参加費 無料(※)
申込み方法 往復葉書に「薪能協力講座希望」・住所・氏名・電話番号を明記の上、県立金沢文庫宛に郵送。1人1枚まで。または金沢文庫HP「講座申込フォーム」から。4月11日(木) 必着
問合せ 神奈川県立金沢文庫
〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142
Tel.045-701-9069 Fax.045-788-1060

称名寺境内特設能舞台



横浜市金沢区金沢町212-1
◇京急線 金沢文庫駅下車(東口)徒歩12分
◇バス(文13) 柴町行「称名寺」下車すぐ
◇金沢シーサイドライン
海の公園柴口駅・南口駅下車各徒歩12分

*称名寺に駐車場はございません

雨天時

横浜市金沢公会堂 (金沢区総合庁舎内)

- 主催/称名寺薪能実行委員会 共催/金沢区役所
- 協賛/ **三ツハシライス** 京急百貨店 **三菱重工環境・化学エンジニアリング** 医療法人社団景翠会金沢病院 **orphicdesign**
 一般社団法人横浜金沢観光協会 有限会社湘南仲介センター **ウスイホーム株式会社** **海鮮酒場まだまだ**
WEINS ウェインストヨタ神奈川 瀬戸神社
- 協力/称名寺 神奈川県立金沢文庫 金沢区商店街連合会 **うみとそらのおうち** 平舘平 新井紳地 春日部八幡神社 金沢町町内会
 金沢消防団第4分団 金沢区木遣囃子保存会 一般社団法人「遊th」
- 後援/ **tvk** **J:COM** **Fm yokohama 84.7** 読売新聞横浜支局 NPO法人横浜金沢文化協会 タウンニュース **855 SENSHUEN PPT**
- 特別協力/一般社団法人櫻間會

お問い合わせ… 称名寺薪能実行委員会(櫻間會) Tel&Fax 03(3556)6176 (土日祝日を除く午前10時～午後5時)